

災害のないまちづくりのために



千曲市官民連携防災訓練
(株式会社アクティオ長野ちくまテクノパーク統括工場にて)

令和 8 年 2 月 13 日
防 災 推 進 会 議

昨年を振り返りますと、2 月には岩手県大船渡市及び県内では上田市において大規模な林野火災が相次いで発生しました。さらに、11 月には大分県大分市で、焼損棟数が 180 棟を超える大規模火災が発生し、12 月には青森県東方沖を震源とする震度 6 強の地震が発生するなど、発災場所に甚大な被害をもたらす大規模火災や自然災害が全国各地で多発した一年でありました。

近年、多発する大規模林野火災や、近い将来、発生の切迫性が指摘されている南海トラフ地震、首都直下型地震等の大規模地震、さらには激甚化する風水害など、自然災害の脅威は一層高まっております。これに伴い、地域住民の安心・安全に対する関心は高まり、消防に寄せられる期待もますます大きくなっております。

一方で、大規模災害時における『公助』には限界があることから、地域住民一人ひとりによる『自助』、地域全体で支えあう『共助』が必要不可欠であり、自主的な防災活動を視野に入れた、災害に強い地域づくりを推進していく必要があります。

さて、当消防本部管内における令和 7 年の火災件数は 31 件で、前年と比較して 12 件の大幅な減少となりました、しかしながら、火災により 3 名の方がお亡くなりになり、8 名の方が負傷しております。

また、4 月に千曲市上徳間で発生した建物火災では、焼損棟数 6 棟、焼損車両 6 台に及ぶ大規模な被害となりました。これらの火災の多くは、火の取扱いの不注意や不始末による失火が原因であることから、地域住民に対する一層の火気管理の徹底と防火意識の高揚を図る取り組みが必要です。

一方、救急件数につきましては、全国的に救急需要が高まる中、当消防本部管内における令和 7 年の救急出動件数は 4,217 件となり、前年と比較して 143 件の減少となりました。

しかし、今後は高齢化の進展による救急需要の増加に加え、新たな感染症や、気候変動に伴う寒暖差の激化などを要因とした救急需要の増加も懸念されております。

このような災害の状況や社会情勢の変化を的確にとらえ、令和 8 年度におきましては、次の事項を重点に掲げ、防災施策の推進に取り組んでまいります。

1 防火防災に対する意識の高揚

(1) 火災予防の徹底

ア 住宅防火対策の推進

(ア) 住宅用火災警報器の設置義務化から 10 年以上経過したことを踏まえた、経年劣化した機器の交換等の適切な維持管理及び未設置住宅への設置の徹底を推進する広報

(イ) 近年の加熱式たばこ等の普及等により減少傾向にあるたばこ火災に対する、引き続きの注意喚起

(ウ) 消防団や婦人消防隊および自主防災組織等と連携した、地域の実情に応じた広報及び普及啓発活動の実施

(エ) 災害時における高齢者等の要配慮者の安全対策に重点を置いた死者発生防止対策

イ 放火火災防止対策の推進

放火火災防止に対する認識の向上及びガソリン等を用いた放火を未然に防ぐための対策と

- して容器詰め替え販売における本人確認等の徹底
- ウ たき火の際の安全確認と消火の準備及び消火の徹底
- エ 林野火災予防対策
 - (ア) 林野火災注意報及び林野火災警報の発令中における火の使用制限等の徹底及び広報並びに巡回指導の実施
 - (イ) 乾燥時及び強風時の屋外放送等の注意喚起及び車両等による広報並びに巡回指導の実施
 - (ウ) 林野周辺住民及び入山者等への防火意識高揚の推進
- (2) 自然災害に対する対応と対策
 - ア 地震や風水害等に対する防災に関する知識の普及啓発及び地域における防災訓練の実施
 - イ 住宅密集地を含む災害危険箇所等の把握及び関係機関との連携強化
 - ウ 地域特性に配慮した、住民主導型の警戒体制の構築
- (3) 危険物災害の防止
 - ア 家庭や職場における危険物やガスなどの取扱いに対する安全意識の高揚
 - イ 震災時等の転倒防止と漏えい事故防止に対する指導
- 2 防火防災に関する指導及び啓発
 - (1) 防火座談会、防災講習会等の開催
 - (2) 各種災害を想定した防災訓練の実施
 - (3) 住民、事業所等各自主防災組織間の協調、連携を図る啓発行事の実施
 - (4) 製品火災発生防止に向けた取組の推進
 - (5) 多数の者が集合する催しの主催者に対する火災予防指導及び火気器具を使用する屋台や露店に対するガソリン等の貯蔵取扱いに対する指導
- 3 災害事故発生時の対応についての普及啓発
 - (1) 初期消火要領
 - (2) 正しい119番通報要領
 - (3) 安全かつ正しい避難要領
 - (4) 避難行動要支援者への対応
 - (5) 応急手当の知識と技術
 - (6) AEDの設置場所に関する情報の収集及び住民に対する情報提供
- 4 その他
 - (1) 老朽化消火器による破裂事故等防止の注意喚起
 - (2) 廃消火器リサイクルシステムの情報提供
 - (3) 消火器、住宅用火災警報器等の悪質な訪問販売・詐欺等における被害防止
 - (4) 救急車の適正な利用を推進する広報

千曲坂城消防組合防災推進実施要綱

平成15年9月1日
訓 令 第13号

(目的)

第1 この要綱は、住民が消防防災行政への理解と意識を高め、火災を始めさまざまな災害の予防及び被害の軽減等を自らの課題として、積極的に取組む地域づくりを推進するために、消防本部及び消防団等が連携し日常的な防災行動を住民に徹底し、災害に強い安心できる地域づくりに貢献することを目的とする。

(防災推進員)

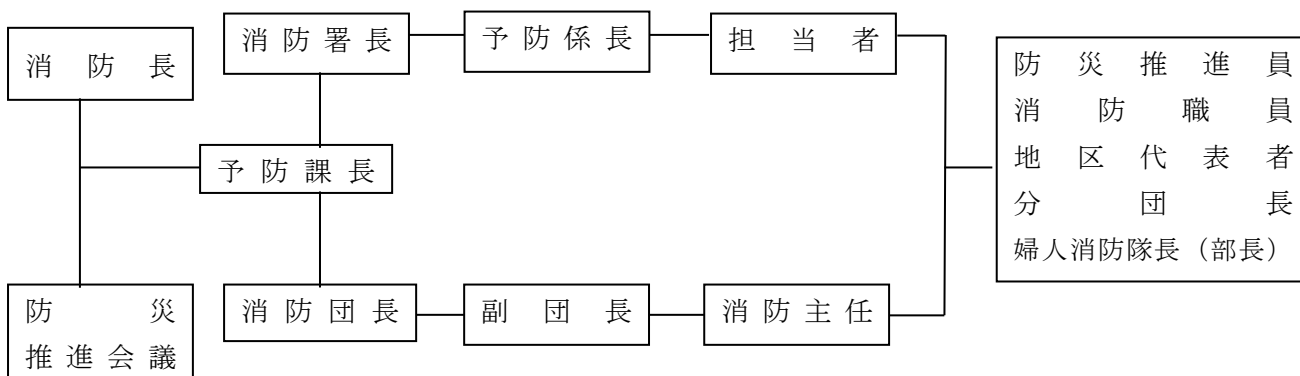
- 第2 防災行動力等の定着を図るため、地区代表者、消防団分団長、婦人消防隊長（部長）及び消防職員からなる防災推進員を設ける。
- 2 地区代表者は、区長又は自治会長とする。
 - 3 消防職員の地区担当は、消防団の分団を単位に管轄署長が編成する。

(防災推進員の任務)

- 第3 防災推進員は次のことを実施する。
- (1) 火災予防及び発生時の措置に関する指導
 - (2) 地震、風水害等自然災害に対する措置に関する指導
 - (3) 救急、緊急時の応急処置に関する指導
 - (4) 消防関係訓練の指導及び講習会等の開催
 - (5) その他地区防災に関すること

(組織及び会議)

第4 組織は次のとおりとする



- 2 会議は、防災推進会議とし、消防団幹部等との合同会議をこれにあてるとともに、推進目標を決定する。
- 3 この事務の所管は、消防署予防係とする。ただし、必要に応じて予防課は業務の補完をする。

(その他)

- 第5 防災推進員として出向する職員は、地区担当及び申請内容等を考慮して署長が指名した者とする。
- 2 防災推進員は、事案が発生したときは防災推進連絡簿（別記様式）に必要事項を記入し消防署予防係へ提出すること。また、事案が終了したときも必要事項を記入し、提出すること。
- 3 防災推進員は、事案を円滑に推進するために、地区の事情に応じ関係機関等に協力を依頼することができる。
- 4 関係市町が行う生涯学習関係事業等への出向は、この要綱に準ずる。

附 則

この要綱は、平成15年9月1日から施行する。

附 則（平成16年4月1日訓令第1号）

この訓令は、平成16年4月1日から施行する

附 則（令和3年5月1日訓令第1号）

この訓令は、令和3年5月1日から施行する

■ 消防組合関係者

消防組合役員名簿

管理者・副管理者

職 名	氏 名	現 職
管 理 者	小 川 修 一	千 曲 市 長
副 管 理 者	山 村 弘	坂 城 町 長
副 管 理 者	大 内 保 彦	千曲市副市長

組合議会議員

職 名	氏 名	住 所
議 長	滝 沢 清 人	千 曲 市
副 議 長	朝 倉 国 勝	坂 城 町
議 員	北 川 原 晃	千 曲 市
議 員	中 村 眞 一	千 曲 市
議 員	林 慶 太 郎	千 曲 市
議 員	聖 澤 多 貴 雄	千 曲 市
議 員	堀 内 太 一	千 曲 市
議 員	前 田 き み 子	千 曲 市
議 員	宮 下 繁 明	千 曲 市
議 員	和 田 英 幸	千 曲 市
議 員	塚 田 舞	坂 城 町
議 員	宮 入 健 誠	坂 城 町

監査委員

職 名	氏 名	住 所
識 見 者	春 日 一 幸	坂 城 町
議 会 選 出	林 慶 太 郎	千 曲 市

歴代管理者

氏 名	在職期間	職 別
宮 坂 博 敏	自平成 15 年 10 月 5 日	千 曲 市 長
	至平成 19 年 10 月 4 日	
近 藤 清 一 郎	自平成 19 年 10 月 5 日	千 曲 市 長
	至平成 24 年 9 月 27 日	
岡 田 昭 雄	自平成 24 年 11 月 11 日	千 曲 市 長
	至令和 2 年 11 月 10 日	
小 川 修 一	自令和 2 年 11 月 11 日	千 曲 市 長
	～ 現 在	

歴代副管理者

氏 名	在職期間	職 別
中 沢 一	自平成 11 年 5 月 1 日	坂 城 町 長
	至平成 23 年 4 月 30 日	
山 村 弘	自平成 23 年 5 月 1 日	坂 城 町 長
	～ 現 在	
近 藤 清 一 郎	自平成 15 年 11 月 28 日	千 曲 市 助 役 千曲市副市長
	至平成 19 年 7 月 9 日	
瀧 澤 嘉 市	自平成 19 年 11 月 1 日	千曲市副市長
	至平成 25 年 1 月 31 日	
山 本 高 明	自平成 25 年 2 月 1 日	千曲市副市長
	至平成 31 年 3 月 31 日	
内 田 雅 啓	自平成 31 年 4 月 1 日	千曲市副市長
	至令和 3 年 3 月 30 日	
大 内 保 彦	自令和 3 年 7 月 7 日	千曲市副市長
	～ 現 在	

歴代組合議会議長

氏 名	在職期間	住 所
若 林 勝 朗	自平成 15 年 11 月 5 日	千 曲 市
	至平成 16 年 6 月 15 日	
戸 谷 有 次 郎	自平成 16 年 8 月 23 日	千 曲 市
	至平成 18 年 7 月 24 日	
和 田 重 昭	自平成 18 年 8 月 22 日	千 曲 市
	至平成 20 年 7 月 31 日	
西 澤 今 朝 人	自平成 20 年 8 月 22 日	千 曲 市
	至平成 22 年 4 月 27 日	
中 村 直 行	自平成 22 年 8 月 24 日	千 曲 市
	至平成 24 年 7 月 24 日	
中 沢 政 好	自平成 24 年 8 月 23 日	千 曲 市
	至平成 26 年 7 月 23 日	
小 山 嘉 一	自平成 26 年 8 月 18 日	千 曲 市
	至平成 28 年 7 月 24 日	
原 利 夫	自平成 28 年 8 月 23 日	千 曲 市
	至平成 30 年 7 月 31 日	
倉 島 さ や か	自平成 30 年 8 月 28 日	千 曲 市
	至令和 2 年 7 月 24 日	
袖 山 廣 雄	自令和 2 年 8 月 26 日	千 曲 市
	至令和 4 年 8 月 1 日	
飯 島 孝	自令和 4 年 8 月 23 日	千 曲 市
	至令和 6 年 7 月 24 日	
和 田 英 幸	自令和 6 年 8 月 21 日	千 曲 市
	至令和 8 年 8 月 2 日	
滝 沢 清 人	自令和 8 年 8 月 20 日	千 曲 市
	～ 現 在	

歴代組合議会副議長

氏 名	在職期間	住 所
宮 島 祐 夫	自平成 15 年 5 月 29 日 至平成 18 年 8 月 22 日	坂 城 町
青 木 崇	自平成 18 年 8 月 22 日 至平成 20 年 7 月 31 日	千 曲 市
春 日 武	自平成 20 年 8 月 22 日 至平成 21 年 5 月 19 日	坂 城 町
大 森 茂 彦	自平成 21 年 7 月 7 日 至平成 23 年 5 月 17 日	坂 城 町
塩 野 入 猛	自平成 23 年 7 月 6 日 至平成 25 年 11 月 11 日	坂 城 町
大 森 茂 彦	自平成 25 年 11 月 11 日 至令和 元 年 7 月 10 日	坂 城 町
朝 倉 国 勝	自令和 元 年 7 月 10 日 ～ 現 在	坂 城 町

歴代監査委員

氏 名	在職期間	区 分	住 所
鈴 木 秀 典	自平成 13 年 2 月 14 日 至平成 21 年 2 月 13 日	識 見 者	坂 城 町
市 川 喜 保	自平成 15 年 11 月 5 日 至平成 16 年 6 月 15 日	議 会 選 出	千 曲 市
金 沢 利	自平成 16 年 8 月 23 日 至平成 20 年 7 月 31 日	議 会 選 出	千 曲 市
中 沢 政 好	自平成 20 年 8 月 22 日 至平成 22 年 7 月 31 日	議 会 選 出	千 曲 市
中 澤 守	自平成 21 年 2 月 14 日 至平成 29 年 2 月 9 日	識 見 者	坂 城 町
内 宇 田 和 美	自平成 22 年 8 月 24 日 至平成 24 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
和 田 重 昭	自平成 24 年 8 月 23 日 至平成 26 年 7 月 23 日	議 会 選 出	千 曲 市
荻 原 光 太 郎	自平成 26 年 8 月 18 日 至平成 28 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
小 山 嘉 一	自平成 28 年 8 月 23 日 至令和 2 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
塚 田 明	自平成 29 年 2 月 10 日 至令和 7 年 2 月 23 日	識 見 者	坂 城 町
飯 島 孝	自令和 2 年 8 月 26 日 至令和 4 年 8 月 22 日	議 会 選 出	千 曲 市
宮 下 繁 明	自令和 4 年 8 月 23 日 至令和 6 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
滝 沢 清 人	自令和 6 年 8 月 21 日 至令和 8 年 8 月 19 日	議 会 選 出	千 曲 市
春 日 一 幸	自令和 7 年 2 月 24 日 ～ 現 在	識 見 者	坂 城 町
林 慶 太 郎	自令和 8 年 8 月 20 日 ～ 現 在	議 会 選 出	千 曲 市

歴代消防長

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	北 澤 親 夫	自平成 15 年 9 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日	9 代	保 坂 正 男	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
2 代	小 岩 一 雄	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	10 代	望 月 則 男	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日
3 代	近 藤 善 正	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日	11 代	柳 町 幸 夫	自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日
4 代	朝 倉 和 雄	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日	12 代	横 林 伸 一	自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日
5 代	北 澤 宏	自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 21 年 3 月 31 日	13 代	高 野 敏 治	自令和 4 年 4 月 1 日 至令和 5 年 3 月 31 日
6 代	森 保 美	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日	14 代	荒 井 精 一	自令和 5 年 4 月 1 日 至令和 6 年 3 月 31 日
7 代	中 村 正 行	自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	15 代	中 村 賢 吾	自令和 6 年 4 月 1 日 至令和 7 年 3 月 31 日
8 代	山 崎 一	自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	16 代	田 中 英 春	自令和 7 年 4 月 1 日 ～ 現 在

歴代署長

◆戸倉上山田消防署

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	森 保 美	自平成 15 年 9 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日	11 代	古 川 正	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日
2 代	近 藤 善 正	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	12 代	丸 山 敏 夫	自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日
3 代	朝 倉 和 雄	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日	13 代	小 出 正 幸	自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 30 年 3 月 31 日
4 代	中 村 正 光	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日	14 代	横 林 伸 一	自平成 30 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日
5 代	中 村 正 行	自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 21 年 3 月 31 日	15 代	高 野 敏 治	自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 2 年 3 月 31 日
6 代	山 崎 一	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日	16 代	西 澤 保 徳	自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日
7 代	富 山 勝 幸	自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	17 代	荒 井 精 一	自令和 3 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日
8 代	山岸 今朝人	自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	18 代	西 澤 保 徳	自令和 4 年 4 月 1 日 至令和 6 年 3 月 31 日
9 代	藤 岡 雅 人	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	19 代	塚 田 優	自令和 6 年 4 月 1 日 ～ 現 在
10 代	丸 山 敏 夫	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日			

歴代署長

◆更埴消防署

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	近 藤 善 正	自平成 15 年 9 月 1 日	10 代	高 地 君 雄	自平成 28 年 4 月 1 日
		至平成 16 年 3 月 31 日			至平成 29 年 3 月 31 日
2 代	中 村 潔	自平成 16 年 4 月 1 日	11 代	飯 島 豊 文	自平成 29 年 4 月 1 日
		至平成 18 年 3 月 31 日			至平成 30 年 3 月 31 日
3 代	北 澤 宏	自平成 18 年 4 月 1 日	12 代	高 野 敏 治	自平成 30 年 4 月 1 日
		至平成 20 年 3 月 31 日			至平成 31 年 3 月 31 日
4 代	中 村 正 光	自平成 20 年 4 月 1 日	13 代	宮 尾 賢 一	自平成 31 年 4 月 1 日
		至平成 21 年 3 月 31 日			至令和 3 年 3 月 31 日
5 代	高 松 義 光	自平成 21 年 4 月 1 日	14 代	西 澤 保 徳	自令和 3 年 4 月 1 日
		至平成 22 年 3 月 31 日			至令和 4 年 3 月 31 日
6 代	山 崎 一	自平成 22 年 4 月 1 日	15 代	山 田 善 彦	自令和 4 年 4 月 1 日
		至平成 23 年 3 月 31 日			至令和 5 年 3 月 31 日
7 代	藤 岡 雅 人	自平成 23 年 4 月 1 日	16 代	中 村 英 章	自令和 5 年 4 月 1 日
		至平成 24 年 3 月 31 日			至令和 7 年 3 月 31 日
8 代	宮 城 欣 司	自平成 24 年 4 月 1 日	17 代	合 津 仁 司	自令和 7 年 4 月 1 日
		至平成 25 年 3 月 31 日			～ 現 在
9 代	久 保 広 康	自平成 25 年 4 月 1 日			
		至平成 28 年 3 月 31 日			

◆坂城消防署

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	飛 田 勉	自平成 15 年 9 月 1 日	10 代	古 川 正	自平成 28 年 4 月 1 日
		至平成 16 年 3 月 31 日			至平成 29 年 3 月 31 日
2 代	北 澤 宏	自平成 16 年 4 月 1 日	11 代	荒 井 精 一	自平成 29 年 4 月 1 日
		至平成 18 年 3 月 31 日			至平成 31 年 3 月 31 日
3 代	中 村 潔	自平成 18 年 4 月 1 日	12 代	中 村 賢 吾	自平成 31 年 4 月 1 日
		至平成 19 年 3 月 31 日			至令和 2 年 3 月 31 日
4 代	高 松 義 光	自平成 19 年 4 月 1 日	13 代	山 田 善 彦	自令和 2 年 4 月 1 日
		至平成 21 年 3 月 31 日			至令和 4 年 3 月 31 日
5 代	山 岸 今 朝 人	自平成 21 年 4 月 1 日	14 代	田 中 英 春	自令和 4 年 4 月 1 日
		至平成 22 年 3 月 31 日			至令和 5 年 3 月 31 日
6 代	丸 山 隆 夫	自平成 22 年 4 月 1 日	15 代	北 澤 克 久	自令和 5 年 4 月 1 日
		至平成 24 年 3 月 31 日			至令和 6 年 3 月 31 日
7 代	久 保 広 康	自平成 24 年 4 月 1 日	16 代	合 津 仁 司	自令和 6 年 4 月 1 日
		至平成 25 年 3 月 31 日			至令和 7 年 3 月 31 日
8 代	宮 城 欣 司	自平成 25 年 4 月 1 日	17 代	中 村 洋 太	自令和 7 年 4 月 1 日
		至平成 26 年 3 月 31 日			～ 現 在
9 代	高 地 君 雄	自平成 26 年 4 月 1 日			
		至平成 28 年 3 月 31 日			

◆千曲市

氏 名	在職期間
荒 井 治 和	自平成 15 年 9 月 1 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
岡 田 忠 行	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
渡 島 港 一	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
塚 田 昌 平	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
亘 健 二	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
坂 口 徹 雄	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
臼 井 満 芳	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
武 井 郁 郎	自平成 30 年 4 月 2 日
	至令和 4 年 4 月 1 日
岡 田 正	自令和 4 年 4 月 2 日
	至令和 6 年 4 月 1 日
瀬 在 順 一	自令和 6 年 4 月 2 日
	至令和 8 年 4 月 1 日
宮 嶋 尚 人	自令和 8 年 4 月 2 日
	～ 現 在

◆坂城町

氏 名	在職期間
富 山 泰 行	自平成 14 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日
塩 野 入 博 幸	自平成 16 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
片 山 吉 一	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
高 橋 進 平	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
塩 野 今 朝 文	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
手 塚 秀 樹	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
松 本 幸 男	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
川 島 金 治	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
長 谷 川 修	自平成 30 年 4 月 2 日
	至令和 2 年 4 月 1 日
小 宮 山 泉	自令和 2 年 4 月 2 日
	至令和 4 年 4 月 1 日
宮 下 喜 幸	自令和 4 年 4 月 2 日
	至令和 6 年 4 月 1 日
中 嶋 幸 人	自令和 6 年 4 月 2 日
	至令和 8 年 4 月 1 日
鈴 木 忠	自令和 8 年 4 月 2 日
	～ 現 在

◆千曲市

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
岡 田 忠 行	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日	武 井 郁 郎	自平成 28 年 4 月 2 日 至平成 30 年 4 月 1 日
臼 井 満 芳	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日	岡 田 正	自平成 29 年 4 月 2 日 至令和 3 年 4 月 1 日
渡 島 港 一	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日	山 崎 亜 成	自平成 30 年 4 月 2 日 至令和 2 年 4 月 1 日
島 田 久 敏	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 20 年 4 月 1 日	瀬 在 順 一	自平成 30 年 4 月 2 日 至令和 2 年 4 月 1 日
北 村 嘉 照	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 21 年 4 月 1 日	中 村 幸 正	自令和 2 年 4 月 2 日 至令和 4 年 4 月 1 日
横 山 征 之	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 22 年 4 月 1 日	宮 原 雅 彦	自令和 2 年 4 月 2 日 至令和 4 年 4 月 1 日
塚 田 昌 平	自平成 20 年 4 月 2 日 至平成 22 年 4 月 1 日	小宮山 敦史	自令和 3 年 4 月 2 日 至令和 5 年 4 月 1 日
坂 口 徹 雄	自平成 21 年 4 月 2 日 至平成 25 年 4 月 1 日	宮 嶋 尚 人	自令和 4 年 4 月 2 日 至令和 6 年 4 月 1 日
亘 健 二	自平成 22 年 4 月 2 日 至平成 24 年 4 月 1 日	久 保 益 利	自令和 4 年 4 月 2 日 至令和 6 年 4 月 1 日
林 幸 彦	自平成 22 年 4 月 2 日 至平成 24 年 4 月 1 日	中曾根 昌彦	自令和 5 年 4 月 2 日 至令和 7 年 4 月 1 日
藤 澤 公 二	自平成 24 年 4 月 2 日 至平成 26 年 4 月 1 日	宮 原 清 雄	自令和 6 年 4 月 2 日 至令和 8 年 4 月 1 日
宮 入 義 徳	自平成 24 年 4 月 2 日 至平成 26 年 4 月 1 日	北 澤 秀 一	自令和 6 年 4 月 2 日 自令和 8 年 4 月 1 日
西 澤 誠 二	自平成 25 年 4 月 2 日 至平成 27 年 4 月 1 日	篠 原 秀 司	自令和 7 年 4 月 2 日 ～ 現 在
福 島 幸 久	自平成 26 年 4 月 2 日 至平成 28 年 4 月 1 日	稲 葉 勇 一	自令和 8 年 4 月 2 日 ～ 現 在
湯 井 勉	自平成 26 年 4 月 2 日 至平成 28 年 4 月 1 日	宮 川 淳	自令和 8 年 4 月 2 日 ～ 現 在
宮 原 辰 美	自平成 27 年 4 月 2 日 至平成 29 年 4 月 1 日		
宮 森 文 男	自平成 28 年 4 月 2 日 至平成 30 年 4 月 1 日		

消防副団長

◆坂城町

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
竹内 今朝通	自平成 14 年 4 月 2 日	長谷川 修	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
塩入 今朝文	自平成 14 年 4 月 2 日	小宮山 泉	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
荒井 一郎	自平成 16 年 4 月 2 日	鈴木 忠	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
山崎 勉	自平成 16 年 4 月 2 日	宮下 喜幸	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
松本 幸男	自平成 18 年 4 月 2 日	宮入 健誠	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
川島 金治	自平成 18 年 4 月 2 日	中嶋 幸人	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
村田 健二	自平成 20 年 4 月 2 日	池田美智康	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
竹内 敏正	自平成 20 年 4 月 2 日	飯島 裕一	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
手塚 秀樹	自平成 22 年 4 月 2 日	春日 慶一	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日		至令和 8 年 4 月 1 日
深井 幸年	自平成 22 年 4 月 2 日	下鳥 進	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 25 年 12 月 31 日		至令和 8 年 4 月 1 日
大井 義明	自平成 24 年 4 月 2 日	大橋 正浩	自令和 8 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日		～ 現在
今井 正人	自平成 26 年 4 月 2 日	青木 知之	自令和 8 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日		～ 現在
鈴木 清	自平成 26 年 4 月 2 日		
	至平成 28 年 4 月 1 日		

千曲坂城危険物防火管理協会

◆会長

氏 名	在職期間
荻 原 光 太 郎	自平成 15 年 10 月 29 日
	至平成 17 年 5 月 16 日
宮 本 健 二	自平成 17 年 5 月 16 日
	至平成 19 年 5 月 11 日
田 島 光 雄	自平成 19 年 5 月 11 日
	至平成 29 年 5 月 17 日
柳 澤 謙 二	自平成 29 年 5 月 17 日
	～ 現 在

◆副会長

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
宮 本 健 二	自平成 15 年 10 月 29 日	小 平 和 正	自平成 29 年 5 月 17 日
	至平成 17 年 5 月 16 日		至令和 7 年 5 月 16 日
中 村 明 文	自平成 15 年 10 月 29 日	峯 村 崇	自令和 2 年 6 月 5 日
	至平成 17 年 5 月 16 日		～ 現 在
田 島 光 雄	自平成 17 年 5 月 16 日	宮 川 学	自令和 7 年 5 月 16 日
	至平成 19 年 5 月 11 日		～ 現 在
若 林 俊 樹	自平成 17 年 5 月 16 日		
	至平成 29 年 5 月 17 日		
藤 井 幹 男	自平成 19 年 5 月 11 日		
	至平成 26 年 3 月 6 日		
柳 澤 謙 二	自平成 26 年 3 月 6 日		
	至平成 29 年 5 月 17 日		
松 岡 行 久	自平成 29 年 5 月 17 日		
	至令和 2 年 4 月 11 日		